

シンポジウム

非正規雇用で公共サー ビスの質は守れるのか

茨城県内全ての自治体は、会計年度任用職員制度の2020年4月1日施行に向け、条例を12月議会までに制定しました。しかしながら、それが非正規公務員の処遇改善に寄与するのか、あるいは指定管理等の民間委託化をうながし、自治体行政の脆弱化を招かないのか、図書館を中心に考えてみましょう。

日時：2020年2月1日（土） 13：30～16：00

場所：自治労会館3階会議室（茨城県合同庁舎西側）

水戸市桜川2-3-30 TEL029-224-0206

参加費無料 参加自由 事前申込は不要

第1部

1. 主催者あいさつ 13：30～13：35
2. 基調講演「自治体行政における非正規雇用の現状と課題」（仮）
講師 上林 陽治氏（地方自治総合研究所 研究員）
13：35～14：50

第2部：パネルディスカッション 15：00～15：45

1. パネリスト 海野敏明「茨城県内の会計年度任用職員制度」
（自治労茨城県本部）
坂本孝恵 鹿嶋市嘱託職員（学校図書館司書）
コーディネーター 千錫烈（関東学院大学准教授）
助言 上林 陽治氏
2. 質疑 15：45～16：00

主催：水戸市立図書館を育てる市民の会／茨城県地方自治研究センター
問合せ先：自治労茨城県本部 海野 TEL029-224-0206

後援：自治労茨城県本部